

# まちづくり計画とは

## 計画の趣旨

本計画は、幕別町及び忠類村の2町村が合併後の新しいまちを創造していくための基本方針及びそれを実現するための施策などについて定めるもので、調和のとれた総合的かつ効果的な新町建設を推進することにより、地域の速やかな一体性の確立を図るとともに、新町の均衡ある発展と住民福祉の向上を目指します。

また、この計画は新町の総合計画にも受け継がれていきます。

## 計画の期間

本計画の期間は、合併年度から平成27年度までとします。

# まちづくりの基本方針

## まちづくりの基本理念

新町のまちづくりにあたっては、次の3つを基本的な考え方として、取り組めます。

### 1. パートナーシップによるまちづくり

2町村が一つになり持続可能な社会を創造していくため、お互いを尊重し、助け合い、支え合いながら、それぞれがこれまでに培ってきた地域の力を結集して、協働による新しいまちづくりの可能性を求めていきます。

### 2. 自然や人とのつながりを大切にするまちづくり

地域がともにこれまで享受してきた大自然の恩恵と人々のつながりの大切さを継承しつつ、創造性あふれる新しいまちを創り、育てていきます。

### 3. 個性を生かし、地域らしさを深めるまちづくり

地域の価値（良いところ、誇るべきところ、競争力のあるところ）を共有し、その価値を高めることによって、新町に住み、生活することに誇りを持つと同時に、より競争力のあるまちづくりを進めます。

## 新町の将来像

新町としての目指すまちづくりの基本理念を踏まえて、住民と行政が共有して目指す将来の姿は次のとおりです。

# 人と大地が躍動し みんなで築く ふれあいの郷土

将来像には、「緑の大地に、人と人が、子供や若者からお年寄りまでが、住民と行政が、それぞれ一体となって、知恵を出し合いながら、農業をはじめとする産業が躍動する、人にやさしい、住みよい豊かな郷土を築いていく」という思いを込めています。

## 地域別整備方針

### 1 幕別地域の整備方針

幕別地域は、中心市街地や幹線道路沿線に高齢化社会への対応を見据えたまちづくりを進め、周辺部にゆとりある住宅地の形成を図ります。さらに、工業地を市街地区外縁部に配置して、周辺住環境との調和を図りつつ、企業の誘致、雇用の場の拡大に取り組みます。

また、幕別地域の基幹産業である農業の振興を一層促すとともに、景観や保水機能などを維持するために、山林、農地及び緑地の保全を図ります。

### 2 忠類地域の整備方針

忠類地域は、酪農を中心とした農業の振興とともに、道の駅周辺を拠点とした観光の振興に取り組み、人口減少の抑制と雇用の場の確保を図ります。

また、住民主体の地域自治組織の育成と密接な連携を通じて、一人ひとりの顔が見える、子供からお年寄りまで安心して暮らすことのできるまちづくりに取り組みます。

## 将来の人口

新町は、宅地造成や公営住宅建設などの住宅整備や定住環境の向上により、緩やかな人口増加が見込まれます。平成32年には、平成12年と比べると4,491人、17.2%の増と推計されます。

また、世帯数は、下のグラフのとおりとなります。

